

## 助成金申請書(記載例)

<b>活動名</b>	子ども食堂チャリティコンサート
助成金申請額	50万円
活動期間	2021年4月1日(月) ~ 2021年9月30日(月)
活動場所	東京都世田谷区 子ども食堂
募集人数	子ども 30名 × 2回 = 延べ 60名
募集方法	<input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> 広報誌 <input type="checkbox"/> その他
参加費	<input checked="" type="checkbox"/> 有料 1人あたり 3000円 <input type="checkbox"/> 無料
共催	子ども食堂NPO(全国に約400カ所あり)

<b>団体名</b>	ドリームキッチンミュージック	
代表者	氏名	住所
連絡先		

<b>活動のねらい</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども食堂を運営するNPO団体と共催で、チャリティコンサートを開催し、収益金の一部を寄付する(<b>社会性</b>)。</li> <li>・コンサートの主役は子どもたち。食堂に通う子どもたちに、音楽の楽しさを教えるとともに、コンサートに向けて学習する楽しさや達成感を体験してもらう(<b>社会性[音楽教育]</b>)。</li> <li>・チャリティコンサートを実施するにあたり、必要となる運営マニュアル/集客ノウハウ(チラシデザイン)/Webサイトを資産として残す。そうすることで、助成金等の補助がなくてもコンサートの収益金だけで運営ができるようにする(<b>収益性</b>)。</li> <li>・将来は、今回のノウハウを活用し全国展開予定(<b>独創性</b>)</li> </ul>
<b>活動内容 (プログラム内容)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども食堂に通う子どもたち30名を6つのグループに分けて、どんな演奏をするか?(合唱、楽器演奏等)を子どもたちに決めてもらう。</li> <li>・1グループに1名の音楽指導員が担当し、2か月間練習を指導する。</li> <li>・3ヶ月後に、小会場を借りて、チャリティコンサートを開催。</li> <li>・並行して、集客のためにWebサイト構築やチラシを作成する。集客目標は50人、入場料3,000円。<b>(実現性)</b> (実行委員: 10名 音楽指導員6名とスタッフ4名)</li> </ul>

## <経費(例)>

(参考)  
次回以降

謝金	演奏者(指導謝金)	$30,000 \times 6 = 180,000$	資産 資産 資産	30,000
	運営マニュアル	$50,000 \times 1 = 50,000$		0
	チラシデザイン	$50,000 \times 1 = 50,000$		0
	Webサイト構築	$50,000 \times 1 = 50,000$		0
旅費	練習場、 本番会場への旅費	$500 \times 40 = 20,000$		10,000
雑役務費	Web広告	$50,000 \times 1 = 50,000$		10,000
	機器レンタル	$10,000 \times 1 = 10,000$		10,000
その他 の 経費	印刷製本費 の 通信運搬費 の 借料損料 費	チラシ印刷(3000部)	$50,000 \times 1 = 50,000$	10,000
	通信費	$10,000 \times 1 = 10,000$		5,000
	小会場	$50,000 \times 1 = 50,000$		無料で借りる
	会議室	$4,000 \times 5 = 20,000$		20,000
消耗品費	消耗品	$10,000 \times 1 = 10,000$		5,000
小計		550,000		100,000
助成対象外経費	チケット代 (経費に組入れ)	$1,000 \times 50 = 50,000$		3000×50人 =150,000
合計		500,000		運営：100,000 寄付：50,000

- チャリティコンサート代の3,000円のうち、2000円は、支援団体に寄付する。  
寄付する総額は $2000 \times 50 = 100,000$ 円
- 運営マニュアル、チラシデザイン、Webサイトは、資産として残る。  
これを活用して、2回目以降は、低コストのチャリティーコンサートが実現できる。  
また、イベントを開催することでノウハウも蓄積され、少ない人数でも開催が可能。

○謝金：講演の講師や活動に関わる指導者等に対し、指導や協力に対する謝意を表すために支払う経費。指導謝金、運営協力などの協力謝金、物品、土地や田畑などの借用謝金、翻訳やチラシなどの作成謝金など。

○旅費：公共交通機関、自家用車、宿泊費

○雑役務費：広告掲載料、看板、舞台設営や機材設置に係る費用、著作権使用料、銀行振込手数料など（領収書が必要）。

○印刷製本費：ちらしやポスター、製本費などの経費。

○通信運搬費：郵便料、気って、ハガキ、宅急便代等。

○借料損料：物品や車両・船舶等の借料損料。会場借料、施設使用料・入場料、駐車料金。

○消耗品費：用紙、インク・トナー、材料等の購入費。

○助成対象外経費：助成の対象にならない経費。参加費、補助金、寄付金、自己資金等を充当する。